萩ジオパーク
子ども探検隊の手引き

萩ジオパーク推進協議会
萩ジオな教育推進委員会
第 13 号
（令和4年夏号）

**海では、波や潮の満ち干などの複雑な動きがあるよね。
そんな海の作用で作られる地形をいくつか紹介するよ。**

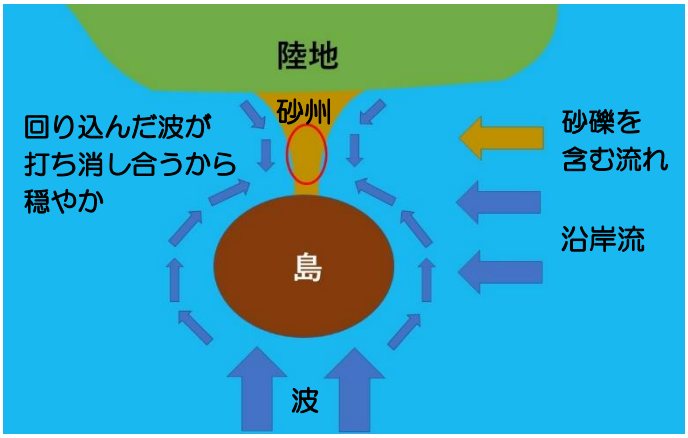
菊ヶ浜をはじめとする砂浜は、波による海岸の侵食や河川の働きによって運ばれた砂や礫が、海中を漂い、海岸線と並行に一定方向に流れる沿岸流という潮の流れによって運ばれ、海岸に堆積してできます。

沿岸流によって運ばれた砂や礫が湾の入口で細長く堆積し、湾の入口をほぼふさぐような形になった地形を砂州や砂嘴といいます。橋本川の河口では川から運ばれた砂が溜まり、沿岸流の働きもあって砂州ができています。

写真：指月山方面から撮影した砂州
（萩阿武自然史研究会提供）

島が潮の流れの作用で陸地と繋がることがあるんだって。

沿岸に島がある場合、島の裏側は波が穏やかになります。そうした部分は沿岸流が運ぶ砂や礫が堆積しやすくなります。陸地と島の間に砂が堆積し、島を本土に繋いだ砂州をトンボロ(陸繋砂州)といい、繋がれた島を陸繋島といいます。笠山は陸繋島で、トンボロの上にできた集落が越ヶ浜ということになります。



写真：萩観光ホテルから撮影した越ヶ浜
（NPO 萩まちじゅう博物館提供）